



私たちに今、できることを

中学生らが雪かきのボランティア



ほとんどの生徒が雪かきは初めての体験でした

茨城県那珂市の那珂市立第一中学校の1年生115人は2月3日、町内の仮設住宅など4カ所で除雪のボランティアに取り組みました。同校は毎年、1年生の宿泊学習で町内のスキー場を訪れており、そんな縁からボランティアを申し出たものです。

川桁の仮設住宅の除雪には、1年1組の生徒29人が参加。スコップやスノーダンプなど、使い慣れない道具を手に雪かきに励みました。同クラスの小林桃華さんは「せっかく震災後の福島に行くので、自分たちにできることを考えた。雪かきは大変な作業だと思った」と感想を述べました。

生産から販売までを一本化

町農業活性化協議会が設立される



設立総会であいさつをする前後町長

猪苗代町農業活性化協議会の設立総会は2月1日、町役場で開催されました。同協議会は、23年度まで町の農業振興のために活動してきた猪苗代町水田農業推進協議会と猪苗代町担い手育成総合支援協議会が1つになり、新たに組織したものです。

農業者の生産活動のサポートから、農産物などが消費者の食卓に上るまで、「農村の6次産業化」「食料自給率の向上」「食の安心・安全」をキーワードに、町内の関係者・関係団体が一致団結して活動することを目的に設立しました。

風評被害に負けない、強い猪苗代の農業を目指します。

県代表としての健闘を報告

中学生がスキー大会の成績を報告



県代表として活躍。入賞を報告した生徒ら

東北中学校、全国中学校スキー大会に出場した東中学校と猪苗代中学校の生徒らは2月8日、町役場を訪れ、前後町長、土屋教育長らに入賞を報告しました。選手たちは「入賞できてうれしい。支えてくれた皆さんのおかげ」と感謝の言葉を述べました。

- ・東北大会結果（丸数字は学年）
距離男子リレー 第5位 東中（神汰輝②、鈴木蓮②、安部晃史③、齋藤涼③）
コンバインド 第4位、ジャンプ 第7位 渡部大輝（猪中②）
- ・全国大会結果（丸数字は学年）
コンバインド 第9位 渡部大輝（猪中②）
距離男子リレー 第10位（神②、大川原一彰 東中②、安部③、鈴木健大 猪中③）
距離女子リレー 第10位（武田里緒菜 猪中②、渡部未朋 猪中③）

鈴木マエさんが満100歳に

長寿を祝い、知事賀寿などを贈呈



前後町長（左）から賀寿を受け取る鈴木さん（右）

2月7日に満100歳の誕生日を迎えた鈴木マエさん（桜ヶ丘）への知事賀寿贈呈式は同日、特別養護老人ホーム咲楽の里で挙行され、出席した家族や同施設の職員らが長寿を祝いました。

山口靖明会津保健福祉事務所長、前後町長や戸田忠義町老人クラブ連合会長が賀寿や記念品を贈ると、鈴木さんは元気な声で「ありがとうございます」とお礼の言葉を述べ、三女の岩崎典子さんからの花束には笑顔を見せました。あいさつに立った次女の永瀬圭子さんは「若い頃は婦人会長などを務めた元気な人。この先も健康な生活を送ってほしい」と感謝の言葉を述べました。

猪苗代の寒さに負けないで

町ライオンズクラブがウエア寄贈



左から佐賀会長、田島さん、西山さん

猪苗代ライオンズクラブによる避難児童・生徒へのスキーウエアの贈呈式は2月8日、町役場で執り行われ、浜通りから避難し、本町で生活する児童・生徒ら68人にスキーウエアと手袋が贈られました。同クラブの佐賀幹夫会長は「スキーウエアや防寒着として活用し、寒さに負けず健やかに過ごしてほしい」とあいさつ。児童・生徒代表の西山耕介さん（猪苗代小学校4年）と田島優乃華さん（猪苗代中2年）にウエアなどを手渡しました。

田島さんは「とても厳しい寒さだが、支援してくれる人のために頑張りたい」とお礼を述べました。

町の農産物などの安全PR

伊豆マラソン大会で物産展を開催



行列に並び、本町のそばを味わった細野豪志環境相（右）

町と町観光協会は2月19日、静岡県三島市で開催された第5回伊豆マラソン大会の会場で、物産展と観光PR活動を実施しました。これは「東京電力福島第一原発事故の影響による風評被害解消の一助になれば」との三島市の申し出で実現したものです。

町商工観光課などが企画し、米や漬物などの町内産品16品と町振興公社のそばを販売。そばは用意した700食以上を完売、他の商品もほとんど売り切れるなど、大会参加者や応援に訪れた家族の東北を応援しようという気持ちがうれしいイベントとなりました。



被災した皆さんの医療費窓口負担 3月以降も免除措置を延長します

東日本大震災で被災した皆さんの医療機関などでの窓口負担(1~3割)は、2月29日まで免除されていましたが、以下の皆さんについては、3月1日以降も引き続き免除が延長されます。

ただし、入院時食事療養費と入院時生活療養費の標準負担額および療養費(柔道整復師・あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の施術費、治療用器具など)の自己負担額の免除は、2月29日分までとなります。

●免除を受けられる期限と対象者

1. 原発事故による警戒(避難指示)区域、計画的避難区域、旧緊急時避難準備区域、特定避難勧奨地点の人(加入している医療保険の種類は問いません) ※1

→ 25年2月28日まで

2. 上記以外で、以下の要件に該当する国民健康保険、後期高齢者医療制度および全国健康保険協会(協会けんぽ)に加入している人 ※1 ※2

→ 24年9月30日まで

<免除要件>

(1) 災害救助法の適用地域(東京都を除く)や被災者生活再建支援法の適用地域の住民(地震の発生以後、被災地域から他市町村へ転出した人を含む)であり、

(2) 以下のいずれかに該当する人

- ① 住家の全半壊、全半焼またはこれに準ずる被災をした人
- ② 主な生計維持者が死亡または重篤な傷病を負った人
- ③ 主な生計維持者の行方が不明である人
- ④ 主な生計維持者が業務を廃止・休止した人
- ⑤ 主な生計維持者が失職し、現在収入がない人
- ⑥ 原発事故に伴い、警戒区域、計画的避難区域および旧緊急時避難準備区域に関する指示の対象

問い合わせ先
町民生活課国保年金業務
☎(62)2114

となっている人

⑦ 特定避難勧奨地点に居住しているため、避難をしている人

●免除証明書の取扱いについて

国民健康保険、後期高齢者医療制度および全国健康保険協会(協会けんぽ)に加入している人は、有効期限欄に「平成24年2月29日まで」と記載されている発行済みの免除証明書でも、24年9月30日まで引き続き使用することができます。 ※3

免除証明書について不明な点がありましたら、下記の医療保険の保険者に問い合わせてください。

【国民健康保険】

町民生活課国保年金業務 ☎(62)2114

または加入している国民健康保険組合

【後期高齢者医療制度】

町民生活課国保年金業務 ☎(62)2114

または福島県後期高齢者医療広域連合

☎024(528)9025

【全国健康保険協会(協会けんぽ)】

全国健康保険協会福島支部 ☎024(523)3916

【上記以外の健康保険など】

加入している各医療保険の保険者またはお勤め先の事業所

※1 震災発生後、他市町村へ転出した人を含みます。

※2 その他の医療保険に加入している人は、保険者(各健康保険組合、共済組合など)により対応が変わりますので、詳細は加入している保険者に問い合わせてください。

※3 その他の医療保険に加入している人で、引き続き窓口負担が免除される人は、免除証明書の更新が必要です。

全力尽くす姿に大きな声援

本町と郡山市でSO福島大会開催



カメリーナで開催されたフロアホッケー

2012年第5回スペシャルオリンピックス(以下SO)日本冬季ナショナルゲーム・福島大会は2月10日から12日までの3日間、本町と郡山市を会場に開催されました。NPO法人SO日本が主催するこの大会には、33都道府県から選手やコーチなど約900人が参加。町内では、沼尻スキー場でスキー・スノーボード・スノーシューイング、カメリーナでフロアホッケーが開催され、アスリートたちがメダルを目指して全力を尽くしました。

競技に励むアスリート、応援に駆け付けた家族やボランティアの笑顔は、福島復興への大きなエネルギーになりました。

新しいまちづくりに向けて

町振興計画審議会が答申書を提出



答申書を見つめる前後町長と審議会の鈴木武喜会長(右)

町では19年4月に第六次猪苗代町振興計画(10カ年計画)を策定しました。本年度は前期5年の最終年度にあたることから、猪苗代町振興計画審議会を開催し事務事業の点検と評価を実施。今後の重要課題である少子高齢化対策の充実や生涯福祉体系の確立など、必要な施策を見直し後期基本計画を策定しました。

後期基本計画では新たに「東日本大震災からの復旧・復興」を施策のひとつに加え、安全・安心な暮らしの確保、地域経済の再興、災害に強いまちづくりの実現、再生可能エネルギーの導入を施策の柱とし、その速やかな実現に全力で取り組んでいきます。

皆さんと作った広報が入賞

広報猪苗代が県コンで佳作を受賞



一枚写真佳作の7月号(左)と広報紙佳作の12月号(右)

第57回福島県市町村広報コンクール(県・県広報協会主催)において、広報猪苗代が広報紙・町村の部、一枚写真の部でそれぞれ佳作を受賞しました。表彰式は2月20日、県庁で執り行われました。佳作となったのは、特集「不変の羅針盤」を掲載した12月号と7月号の表紙写真。

表彰を受けたのは町ですが、受賞できたのはいつも快く取材に応じてくださる町民の皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。これからも皆さんを応援するまちの応援マガジンとして頑張っていきますので、よろしくお願ひします。